

## 平成26年度 事業報告書

平成26年度事業は、平成25年4月1日付で一般社団法人に移行登記したことに伴い、関係法律等、いわゆる「整備法施行規則」第33条第3項に基づく公益目的財産額及び「整備法施行規則」第25条第10号による完了予定年月日は、申請どおり、平成25年7月19日付で次のとおり、内閣総理大臣より確定通知があった。

公益目的財産額：101,699,372円

完了予定年月日：平成31年3月31日

そのため、後述の第3の公益目的支出計画実施事業の推進に関する事項を重点として事業の推進を図った。

### 第I 会員に関する事項

#### 1. 会員の異動状況

区 分	25年度末	26年度中		26年度末
		入 会	退 会	
正 会 員	91	0	0	91
賛助会員	17	0	0	17
計	108	0	0	108

#### 2. 正会員 支部別・都道府県別 入会状況

(平成27年3月31日現在)

支部名	都道府県名	支部名	都道府県名
北海道(6)	北海道(6)	近畿(7)	京都(1) 大阪(2) 兵庫(3) 和歌山(1)
東北(16)	青森(3) 岩手(3) 宮城(4) 秋田(1) 山形(1) 福島(4)	中国(12)	鳥取(1) 島根(1) 岡山(6) 広島(3) 山口(1)
関東甲信越 (22)	茨城(1) 栃木(1) 埼玉(5) 千葉(1) 東京(6) 神奈川(4) 新潟(3) 長野(1)	四国(6)	徳島(1) 香川(1) 愛媛(3) 高知(1)
		九州(9)	福岡(3) 佐賀(1) 宮崎(1) 鹿児島(3) 沖縄(1)
東海北陸 (13)	富山(2) 石川(1) 静岡(3) 愛知(7)	計	91
会員不在県	群馬、山梨、岐阜、福井、三重、滋賀、奈良、長崎、熊本、大分(10県)		

3. 賛助会員 本社所在地別 入会状況

(平成27年3月11日現在)

地区名	本社所在地県名	地区名	本社所在地県名
関東 (8)	埼玉 (1) 東京 (6) 神奈川 (1)	近畿 (5)	大阪 (5)
東海 (3)	愛知 (3)	九州 (1)	福岡 (1)
		計	17

第II 役員に関する事項

1. 定数及び現在数

区分	定数	現在数	任期
理事	10人以上15人以内	14人	平成26年6月11日)
監事	2人	2人	～平成28年6月の定時総会の日まで

2. 役員会の構成と現任者氏名 (順不同・敬称略) (平成27年3月31日現在)

理事長	副理事長 (支部長兼務) (定数2人)	専務理事	常務理事 (支部長兼務) (定数8人)	理事	監事
榛葉紀久雄	高江智和理 (北海道)	佐藤 哲也	柳原 正俊 (東北)  長谷川正親 (東海北陸)  服部 真也 (近畿)  大野 博之 (中国)  植松 浩伸 (四国)  松山 俊博 (九州)	東 純 生 田中 君 雄 (以上正会員)  佐々田和男 塩 出 攻 三 科 隆 (以上賛助会員)	唐沢 昌敬 (会計士)  飯塚 素行 (税理士)
1人	1人	(1人)	6人	5人	2人

### 第Ⅲ 公益目的支出計画実施事業の推進に関する事項

#### 1. 「貸おむつに関する厚生労働省ガイドライン」の普及事業

##### (1) 会員各社等において生産されている貸おむつの衛生状態を把握確認するため、夏季・冬季において細菌検査を実施した。

平成26年7月14日付け日ダ振発第16号及び平成27年1月20日付け日ダ振発第38号通知「平成26年度貸おむつの官能検査及び細菌検査の実施について」の別添「平成26年度（夏季）・（冬季）おむつの官能検査・細菌検査実施要領」に基き、検査日を夏季は8月4日(月)～同6日(水)、冬季は2月2日(月)～同4日(水)と定め全国一斉に実施した。

検査は、(公社)日本食品衛生協会食品衛生研究所に委託して実施した。

なお、技術調査研究委員会からの要請に基づき、前年同様、セレウス菌の自主的な追加検査を夏季の細菌検査において実施した。

検査費用は、前年同様、会員が委託する非会員工場分も含め全てを本部で負担した。

なお、非会員へ委託している場合は、当該委託先に対し、本検査への積極的な受検の勧奨を要請するなどして実施した。

●平成26年度の支部別検査状況は、次表のとおりである。

区 分	受検対象 会 員 数		受 検 数		合 格 数		再 検 査 数		再 検 査 不 合 格	
	夏季	冬季	夏季	冬季	夏季	冬季	夏季	冬季	夏季	冬季
北海道	4	4	5	5	5	5	0	0	0	0
東 北	12	12	16	16	16	15	0	1	0	0
関東甲信越	8	8	16	15	13	15	3	0	0	0
東海北陸	6	6	9	9	9	9	0	0	0	0
近 畿	4	4	5	5	5	5	0	0	0	0
中 国	9	9	8	8	7	8	1	0	0	0
四 国	5	5	5	5	4	5	1	0	0	0
九 州	6	6	9	9	9	9	0	0	0	0
計	54	54	73	72	68	71	5	1	0	0
前年度	55	53	72	71	65	71	7	0	2	0

注1. 受検対象会員数：自社工場（全委託生産の会員を除く。）

注2. 会員数と受検数の差異は、「1社の複数工場数+非会員数」である。

注3. 再検査の内訳は、一般細菌数である。

注4. 平成26年度夏季検査において、セレウス菌が全国10工場で検出された。

ただし、一般細菌数の基準値以内である。

## (2) 技術調査研究委員会の設置運営

### [ア 第1回技術調査研究委員会]

日 時：平成26年7月31日（水）10：30～

場 所：振興会共用会議室

### 次 第

1. 佐藤専務理事挨拶

2. 委員の委嘱（常設委員会規程第4条）

（榛葉紀久雄新理事長より次のとおり委嘱替えを行った。）

平成26年度技術調査研究委員会委員名簿

平成26年7月31日付

区 分	氏 名	所 属
再	鈴木 益子	東北薬科大学名誉教授
再	大神 弘明	（一財）日本冷凍食品検査協会顧問
再	大坂 隆	（公財）日本建築衛生管理教育センター教授（非常勤）
再	中川 順一	オーヤラックスクリーンサービス（株）
新	山村 尊房	（特非）日本水フォーラム特別研究員

3. 委員長の互選（常設委員会規程第7条）

4. 委員長挨拶（鈴木益子先生）

5. 検討事項

（1）細菌検査事業の実施について

ア 平成26年度 夏季の細菌検査の実施について

・検査項目にセレウス菌を自主的に追加して実施

イ 平成26年度 冬季の細菌検査の実施について

・検査項目にセレウス菌は、追加せず

（2）平成26年度ダイアパー技術研修会の開催について

ア 開催時期等について

・日時：平成27年2月27日（金）10：00～

・場所：ホテルグランドヒル市ヶ谷

イ 受講対象者について

ウ 講義時間と内容について

参考として、前回（18年度～24年度）までのプログラムを用意。

（追加検討テーマ：24年度テーマより）

①技能実習講習会のコース別の講習（布おむつ）について

（鈴川織布株式会社営業部長間瀬隆行氏）

②貸おむつのGHG排出量の算定（ダイアパーの有用性と温室効果ガス削減方策の手法に関する調査研究より）

（共立女子短期大学生生活科学科准教授山口庸子氏）

山口先生は最近、下記のような論文を公表している。

洗濯に関するLCAの評価事例—衣類の使用・消費段階—  
特集「ケーススタディ—貸おむつのGHG排出量の算定—」

(3) その他

終了証書の交付について

[イ 第2回技術調査研究委員会]

9月4日（木）10：30～13：00 振興会共用会議室

次 第

[①]平成26年度ダイアパー技術研修会の日程の調整について

平成27年2月25日（水）又は2月27日（金）

開始時間等：9：50～12：00 午前2時間

食事時間：何分とするか？

13：00～16：30 午後3時間30分

[②]平成26年度ダイアパー技術研修会開催要領（案）の修正案について

平成26年度ダイアパー技術研修会開催要領（案）

一般社団法人日本ダイアパー事業振興会

1. 名 称 平成26年度ダイアパー技術研修会

2. 開催目的

近年、新型ノロウイルスやインフルエンザの院内感染が猛威をふるっており、ダイアパーの生産、供給に携わる従事者を確保する観点からも、これら感染症に対する危機管理意識が強く求められるところである。また一方で、平成25年8月には3例目となるセレウス菌の院内集団感染による死亡事例も発生しており、これら感染症には、より一層の危機管理意識と正しい知識が求められる。

ダイアパー事業者には、貸おむつの衛生を確保するために、クリーニング業法の規定に基づき営業者が講ずべき措置等に係る事項のほか、いわゆる「貸おむつに関する厚生労働省のガイドライン」（以下、「ガイドライン」という。）によりその達成すべき事項が定められ、ダイアパー製品の供給に当たっての厳しい規制が課せられているが、ガイドライン達成のためには、洗濯機製造メーカー等関係業界の理解と協力も必須である。このような観点から、本年度は、正会員及び賛助会員に対して広く本研修会への参加を呼

びかけるなど、今後のダイアパー事業の一層の健全な発展に資することを目的とする。

3. 受講対象者：ダイアパー生産工場責任者等
4. 定 員 100名
5. 受講料 無料
6. 日 時 平成27年2月27日（金）10：00から
7. 会 場 ホテルグランドヒル市ヶ谷東館3階 瑠璃東の間  
住所：東京都新宿区市谷本村町4-1（別添案内図のとおり）  
（宿泊希望の場合は、直接ホテルにご連絡下さい。連絡の際には「防衛省職員 箭内（やない）氏のご紹介」と言って予約して下さい。）  
電話：03-3268-0111（代表）
8. 研修内容 「別紙：平成26年度ダイアパー技術研修会プログラム」のとおり。
9. 申込締切 平成27年1月30日（金）までに、別紙（2）の「受講申込書」により、原則として、FAXをもって申し込んで下さい。
10. その他 （1）終了後、修了証書の交付いたします。  
（2）昼食を用意いたしております。

[③]平成26年度ダイアパー技術研修会の講義内容について

別紙（次頁）のとおり

別紙：平成26年度ダイアパー技術研修会プログラム

1. 開会挨拶

(10:00～10:10)

(一社) 日本ダイアパー事業振興会

専務理事 佐藤 哲也氏

2. 講義

(10:10～10:50)

①最近の生活衛生行政について(仮題) 厚生労働省健康局生活衛生課課長補佐

かいち  
鶏内 さつき氏

(11:00～11:50)

②ダイアパー製品から細菌を可能な限り取り除くためには

技術調査研究委員会委員長 鈴木 益子氏

(11:50～12:30)

— 昼食 —

(12:30～13:20)

③ダイアパー事業と公衆衛生：クリーニング業法の目的とクリーニング師の役割

技術調査研究委員会委員 大坂 隆氏

(13:20～14:10)

④ダイアパー事業と水質基準

技術調査研究委員会委員 中川 順一氏

(14:10～14:30)

— 休憩(コーヒータイム) —

(14:30～15:20)

⑤連洗の機内洗浄について—セレウス菌対策の観点から—

振興会理事・日本産業機械工業会業務用洗濯機部会長

塩出 攻氏ほか

(15:20～15:55)

⑥布おむつについて

テキスタイルサプライ協議会技能実習講習会

テキスト執筆者 間瀬 隆行氏ほか

(15:55～16:40)

⑦貸おむつのLCAと温室効果ガスの削減対策について

共立女子短期大学教授 山口 庸子氏

3. 閉講式

(16:40～16:50)

閉会の挨拶・修了証書交付(対代表者)

(一社) 日本ダイアパー事業振興会

理事 塩出 攻氏

[④]平成26年度夏季の細菌検査事業の実施結果（中間報告）について次のとおり報告した。

夏季の検査においては、総件数73件（うち正会員55件）うち、検査項目の一般細菌数で不合格が5件（再検査で全合格）、また、セレウス菌が全国10工場で検出されている。ただし、一般細菌数の基準値以内である。

### (3) 平成26年度ダイアパー技術研修会の実施

前述のとおり、技術調査研究委員会において検討したプログラム等に従って実施した結果はつぎのとおり。

ア 日時：2月27日（金）9：45～17：00

イ 受講者：正会員30社44名、賛助会員7社12名 合計56名

## 2. 広報誌「ほわいと」の発行

(1) 人にも環境にも優しい布おむつの普及拡大と、ごみの減量化や環境の保全対策に資する観点から、「広報誌」ほわいと第37号と第38号の2回、計28,000部を発行した。

(2) 配布先は、正会員（顧客分を含む）、賛助会員、厚生労働省及び都道府県・指定都市・中核市・政令市・特別区の生活衛生・介護保険・老人保健の各主管課、看護師養成施設介護福祉士養成施設である。

## 第IV その他事業の推進

### 1. 貸おむつ類の洗濯契約の業務代行実施事業の運営に関する事項

布おむつ類の供給ラインは、汚物を適正に処理し、布おむつ利用者の快適な生活環境を保持する上で、病院や介護施設等にとっては極めて重要な生命線となっている。

このため、布おむつの絶対的供給ライン確保のための業務代行実施事業は、社会公共の観点からも本会に課せられた役割は大きく、引き続き、各支部長との緊密な連携の下本制度の適切な運営に当たる。

◎ 業務代行実施依頼契約の更新日は、10月1日とし、一括契約書方式による更新事務の手続きを実施した。

【業務代行実施依頼契約の現況と推移】

支部名	平 26. 10. 1～平 27. 9. 30		対前年度	平 25. 10. 1～平 26. 9. 30		平 24. 10. 1～平 25. 9. 30	
	会員数	契約件数		会員数	契約件数	会員数	契約件数
北海道	5	93	1	5	92	6	111
東北	15	138	▲ 19	15	157	14	168
関東甲信越	21	1,040	▲ 32	21	1,072	20	1,076
東海北陸	13	1,008	13	14	995	14	1,003
近畿	7	1,967	▲ 14	8	1,981	8	1,962
中国	12	824	▲ 27	12	851	12	886
四国	6	152	25	6	127	6	156
九州	9	536	▲ 15	9	551	9	565
計	88	5,758	▲ 68	90	5,826	89	5,927

2. 第10回貸おむつ生産量実態調査の実施

ダイアパー業界における布おむつ類等生産の実態とその経営動向を把握するため、第10回目の調査として、11月5日付で正会員及び協力非会員宛て依頼した。

本調査においては、平成24・25年度分については実績を、平成26年度については見込みで、12月5日までに報告するよう協力依頼したが、報告内容の点検等に時間がかかり、現在、事務局で取りまとめ中である。その回答状況は下表のとおりである。

(回答状況：括弧内は前回調査)

区分	調査依頼事業所数 (A)	回答事業所数 (B)	回答率 (B) / (A)
正会員	91社 (93社)	81社 (81社)	89% (87%)
非会員	10社 (14社)	5社 (5社)	50% (36%)
計	101社 (107社)	86社 (86社)	85% (80%)

第V 法人の運営に関する事項

1. 理事会等の開催

(1) 平成26年5月22日(金) 第74回(議長：理事長代行 榛葉紀久雄副理事長)  
於 東京商工会議所ビル8階東商スカイルーム

(議題)

- ① 平成25年度事業報告(案)に関する件
- ② 平成25年度収支決算(案)に関する件
- ③ 平成25年度(第28期)監査報告に関する件
- ④ 平成26年度収支予算の変更に関する件
- ⑤ 第15期役員(理事・監事)候補者名簿(案)に関する件

- ⑥ 第43回定時総会の運営に関する件
- (2) 平成26年6月11日(水) 役員(理事・監事) 会議 第43回定時総会控室
  - ① 第43回定時総会の運営について
  - ② その他
- (3) 平成26年6月11日(水) 定時総会終了後  
代表理事等役員の選任に関する件
- (4) 平成27年3月19日(木) 第75回通常理事会(議長: 榛葉紀久雄理事長)  
於 ホテルグランドヒル市ヶ谷琵琶の間

(議題)

- ① 平成27年度事業計画(案)について
- ② 平成27年度収支予算(損益ベース)(案)について
- ③ 理事の辞任について
- ④ 平成27年度第1回理事会及び支部長会の開催(案)について
- ⑤ 日本ダイアパー事業振興会創立30周年記念事業の実施について
- ⑥ その他

2. 定時総会の開催

平成26年6月11日(水) 第43回定時総会 (議長: 榛葉紀久雄副理事長)  
於: 第一ホテル東京21階ルミエール

(議題)

- ① 「業務代行保証基金積立金」特別会計の設置規則及び「公益事業強化対策積立金」取扱規則の廃止に関する件
- ② 平成25年度事業報告(案)に関する件
- ③ 平成25年度収支決算(案)に関する件
- ④ 平成25年度(第28期)監査報告に関する件
- ⑤ 平成26年度事業計画・収支予算の報告に関する件
- ⑥ 正会員の入退会の報告に関する件
- ⑦ 第15期役員(理事・監事)の選任に関する件

3. 総会懇親会の開催 定時総会終了後開催(賛助会員出席)。

出席予定登録者: 正会員52名、賛助会員26名 計78名

4. 監事会の開催

平成26年5月13日(火) 14:00~ 第28期監査 於 振興会共用会議室  
監査事項: 平成25年度事業報告及び収支決算(案)  
監査実施者: 唐沢公認会計事務所・飯塚税理事務所

5. 諸案件について理事長等役員とのメールによる打合せ

- (1) 日本テキスタイルサプライ協議会企画運営委員会開催の日程調整に関する件
- (2) 「業務代行保証基金積立金」特別会計の設置規則及び「公益事業強化対策積立金」取扱規則の廃止に関する件
- (3) 平成26年度事業報告及び収支決算案に関する件
- (4) 平成26年度及び平成27年度の理事会・総会開催日程及び運営等に関する件
- (5) 技術調査研究委員会のメンバー交代に伴う委員の委嘱又は解職に関する件
- (6) 平成26年度貸おむつ等生産量の実態調査に関する件
- (7) 平成26年度ダイアパー技術研修会の開催に関する件
- (8) 事務局職員の退職及び採用に関する件
- (9) 平成27年度事業計画及び収支予算案に関する件、等

#### 6. 会員名簿の作成配布

平成26年度も10月1日現在の会員名簿を作成し、会員及び関係各方面に配布した。

#### 7. 一般社団法人へ移行と同時に、本法人の電子公告により情報を提供するアドレス(URL)を、<http://www.jdp.or.jp>とおりとした。

平成26年度中の アクセス件数：4,744件（対前年度役27%増）。

#### 8. 発簡文書等に関する事項

月 日	文書番号	標 題 (宛 先)
4 / 4	1	。リネンサプライ業技能実習講習会（上級）の開催について（正会員）
4 / 10	2	。平成26年度年会費の請求について（正会員）
4 / 23	3	。広報誌「ほわいと第37号」の送付について（正会員）
4 / 23	4	。平成25年度会計業務監査の実施について（監事）
4 / 30	5	。広報誌「ほわいと第37号」の送付について（役員他）
5 / 13	6	。第74回通常理事会の開催について（役員）
5 / 14	7	。平成26年度第43回定時総会懇親会の開催について（賛助会員）
5 / 22	8	。理事打合会及び第43回定時総会懇親会の開催について（役員） について（正会員）
5 / 23	9	。第43回定時総会の開催について（正会員）
”	10	。第43回定時総会懇親会のご案内について（厚生労働省健康局）
5 / 26	11	。第43回定時総会への出席依頼について（理事候補者）
6 / 20	12	。平成26年度年会費の請求について（賛助会員）
”	13	。ほわいと37号掲載の広告料の請求について（掲載賛助会員）

月 日	文書番号	標 題 (宛 先)
7 / 1	14	◦ 平成26年度支部連絡窓口設置費の請求等について (各支部長)
7 / 4	15	◦ 平成26年度技術調査研究委員会 (第1回) の開催について (委員)
7 / 14	16	◦ 平成26年度 (夏季) おむつの官能検査及び細菌検査の実施について (受検正会員等)
7 / 31	17	◦ 技術研究委員会委員の委嘱について (山村尊房氏)
8 / 5	18	◦ 平成26年度おむつ類の洗濯受託業務に係る業務代行実施依頼契約の更新について (加入会員)
〃	19	◦ 平成26年度おむつ類の洗濯受託業務に係る業務代行実施依頼契約の更新について (支部長)
8 / 11	20	◦ 平成26年度技術調査研究委員会 (第2回) の開催について (委員)
8 / 25	21	◦ 平成26年度 (夏季) 貸おむつの官能検査及び細菌検査に係る「試験検査結果の通知」並びに再検査の実施について (再検査受検会員)
8 / 25	22	◦ 第5回リネンサプライ業技能実習講習会 (初級) の開催について (正会員)
8 / 26	23	◦ 平成26年度 (夏季) 貸おむつ官能検査及び細菌検査に係る「試験検査成績書」の送付について (セレウス菌不検出の合格正会員)
〃	23	◦ 平成26年度 (夏季) 貸おむつ官能検査及び細菌検査に係る「試験検査成績書」の送付について (セレウス菌検出の合格正会員)
9 / 8	24	◦ 平成26年度 (夏季) 細菌検査の結果について (支部長)
9 / 25	25	◦ 平成26年度 (夏季) 細菌検査 (再検査) の「試験検査成績書」の送付について (再検合格正会員)
〃	26	◦ 平成26年度 (夏季) 細菌検査 (再検査) の「試験検査成績書」の送付について (再検不合格正会員)
9 / 29	27	◦ 平成26年度 (夏季) 細菌検査の結果について (該当支部長)
〃	28	◦ 平成26年度おむつ類の洗濯及び提供に関する業務代行実施引受承諾書の送付について (支部長)
10 / 1	29	◦ 平成26年度おむつ類業務代行実施依頼契約施設の確定件数について (支部長)
10 / 7	30	◦ 会員名簿作成のお願い (正・賛助会員)
10 / 30	31	◦ 広報誌「ほわいと38号」の贈呈について (会員・厚生労働省等)
11 / 5	32	◦ 第10回貸おむつ生産量実態調査の実施について (正会員)
〃	33	◦ 第10回貸おむつ生産量実態調査への協力について (非会員)
11 / 17	34	◦ 会員名簿の送付について (会員他)
11 / 28	35	◦ 第5回リネンサプライ業技能実習講習会 (中級) の開催について (正会員)

月 日	文書番号	標 題 (宛 先)
12/ 5 12/19	36 事務連絡	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ ほわいと38号掲載の広告料のご請求にていて (掲載賛助会員)</li> <li>◦ 第10回貸おむつ生産量実態調査の実施について (対未報告正会員)</li> </ul>
1/ 5 1/20	37 38	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 平成26年度ダイアパー技術研修会の開催について (全会員)</li> <li>◦ 平成26年度 (冬季) 貸おむつの官能検査及び細菌検査の実施について (受検正会員等)</li> </ul>
1/28	39	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 平成26年度ダイアパー技術研修会への講師派遣ご依頼 (生活衛生課長)</li> </ul>
2/20 2/24 "	40 41 42	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 第75回通常理事会の開催について (理事及び監事)</li> <li>◦ 平成26年度 (冬季) 細菌検査の再検査の実施について (再検受検会員)</li> <li>◦ 平成26年度 (冬季) 貸おむつの官能検査及び細菌検査に係る「試験検査成績書」の送付について (合格正会員)</li> </ul>
3/12 3/18 3/30	43 43 事務連絡	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 平成26年度 (冬季) 細菌検査の再検成績書の送付について (再検合格正会員)</li> <li>◦ 平成26年度 (冬季) 細菌検査の結果について (各支部長)</li> <li>◦ PRTR 制度普及啓発ポスター (平成27年度版) の配布について (各支部事務局)</li> </ul>

9. その他 日本テキスタイルサプライ協議会 (4団体協議会) の運営に関する事項

(1) 日本テキスタイルサプライ協議会について

ア 当番団体として平成25年度会長・理事長及び専務理事等会議の開催

平成26年4月21日 16:30～東京會館LEVELXX1

協議会議題

- (ア) 平成26年度事業計画 (案) について
- (イ) 平成26年度予算 (案) について
- (ウ) 平成26年度リネンサプライ業技能実習講習会実施計画について
- (エ) 平成25年度事業報告について (平成25年度リネンサプライ業技能実習講習会実施状況について)
- (オ) 平成25年度決算報告について
- (カ) 会長の改選について
- (キ) その他

イ 日本テキスタイルサプライ協議会事務局打合せ

平成26年6月16日 13:30～リネンサプライ協会

外国人技能実習制度の制度改正等について

ウ 第3回企画運営委員会

平成26年11月21日 12:00～ KKRホテル東京  
・メンバーの変更 ・ワーキンググループの設置等

エ 第1回企画運営委員会ワーキンググループ

平成26年12月22日 12:00～ KKRホテル東京

議 題

- (1) 企画運営委員会設置の経緯及び取り組みについて
- (2) 当面の検討事項について
- (3) その他

オ 第2回企画運営委員会ワーキンググループ

平成27年1月23日 12:00～KKRホテル東京

ワーキンググループにおける検討状況

- ・技能実習2号移行職種への追加について
- ・リネンサプライ業の作業概要
- ・作業工程及び作業内容
- ・技能実習期間（3年間）における作業工程及び作業内容 等

カ 第4回企画運営委員会及び第3回同委員会ワーキンググループの開催

平成27年3月24日 12:00～KKRホテル東京

議 題

- (1) ワーキンググループにおける検討内容について
- (2) J I T C Oとの打合せ（2月17日）について
- (3) 今後の対応について

(2) 平成26年度リネンサプライ業技能実習講習会開催状況

◎本会会員の受講状況

( ) は前年度

第4回上級：東京会場、6月27日～28日。 受講者： 5名 (8名)

第5回初級：東京会場、10月25日。 受講者：12名 (13名)

大阪会場、10月30日。 受講者：10名 (13名)

第5回中級：東京会場、2月27～28日。 受講者： 6名 (2名)

大阪会場、3月6～7日。 受講者： 4名 (6名)